



記者発表資料	
令和5年10月27日	
担当課 (担当)	文化交流課 福山・城市
電話	30-8021 (内線 2818)

## 第48回（令和5年度）鳥取市文化賞受賞者および贈呈式について

昭和51年から、鳥取市の芸術・文化の振興に顕著な業績を上げた個人または団体に対し、文化賞を贈呈しています。

このたび、3名の文化賞受賞者が決定しましたので、受賞者および贈呈式についてお知らせします。

### 1 鳥取市文化賞の種類

#### (1) 文化賞

- ア 美術・音楽・芸能・文芸・学術等の発展に貢献し、特に最近の活動が顕著であったもの
- イ その他とくに著しい業績があったと認められるもの

#### (2) 文化賞特別功績賞（平成25年～）

主な活動拠点が鳥取県外にあって、その活動が全国的に高く評価され、本市の美術・音楽・芸能・文芸・学術等の発展に大きな功績があると認められるもの

#### (3) 文化賞奨励新人賞（令和4年度～）

- ア 美術・音楽・芸能・文芸・学術等において、特に最近の活動が顕著であり、将来活躍が期待されるもの
- イ 年齢が概ね40歳以下であるもの

### 2 鳥取市文化賞の受賞者

#### 【文化賞】

- 1 入江 豊友（いりえ ほうゆう）氏 [華道]
- 2 齊藤 頼陽（さいとう よりあき）氏 [演劇]
- 3 永見 信久（ながみ のぶひさ）氏 [音楽]

※受賞者の詳細は別紙資料のとおり

### 3 贈呈式

日 時：令和5年11月3日（金・文化の日） 午前10時～11時  
場 所：仁風閣 1階 随員控室

### 4 その他

- (1) 昭和51年から第47回までに、130名と6団体が受賞されています。
- (2) 受賞者のあいさつ、選考経過報告につきましては、贈呈式当日の11月3日に行います。

## 第48回 鳥取市文化賞受賞者

### いりえ くにこ ほうゆう 入江 邦子 (豊友) [華道]

#### 【受賞理由】

いけばな三大流派の一つである小原流に入門してから、長年の間、いけばなの教授活動を続け、多くの華道教授者を育成してきた。

ひたむきに華道を愛し、多くの役職を歴任しながら次世代にいけばな文化を継承するための活動に尽力し続けている。また、日本国内のみならず、海外においても日本の伝統文化である華道の魅力を発信し、国際親善に貢献するほか、後進の指導、地域の小学生への出前講座や中学生への指導など、次世代を担う子どもたちの育成にも尽力している。

花をはじめとする草木の生命力を鋭い感性で感じ取り、一つの命ある作品を創り上げる姿勢は、人のために尽くすことで人の役に立ち、人と人との関りを大切にしてきた人生の経験の積み重ねの中で培われたものであり、鳥取の華道界を牽引する華道指導者である。

#### 【経歴】

- 昭和35年 小原流（華道）に入門  
裏千家（茶道）に入門  
（昭和44年 上級資格 茶名（宗邦）取得）
- 昭和42年 華道教授者資格取得
- 昭和43年 華道教授活動を開始
- 昭和53年 小原流鳥取支部幹部に就任
- 平成 3年 鳥取華道連合会幹事に就任
- 平成 8年 小原流鳥取支部副支部長に就任
- 平成12年 小原流鳥取支部支部長に就任（～平成29年）
- 平成13年 小原流研究院研修士取得
- 平成14年 日本いけばな芸術協会特別会員に承認される
- 平成22年 鳥取華道連合会会長に就任（現在に至る）  
鳥取市文化団体協議会理事に就任
- 平成24年 小原流功労者最高資格（教務）を授与される
- 平成30年 小原流鳥取県支部連合会会長に就任（現在に至る）
- 令和 2年 鳥取市文化団体協議会副会長に就任（現在に至る）  
鳥取市文化芸術推進協議会副会長に就任（現在に至る）
- 令和 3年 小原流名誉会員に承認される
- 令和 4年 日本いけばな芸術協会名誉特別会員に承認される

#### 【主な活動】

- 昭和43年 華道教授活動を開始
- 平成14年 第17回国民文化祭「とっとり2002」実行委員
- 平成15年 文化庁「伝統文化こども教室」事業を開催（現在に至る）
- 平成21年 ロシア沿岸地方における「第1回鳥取県文化デイズ」に参加、ウラジオストクでいけばな指導を行う
- 平成24年 「エンジン01文化戦略会議オープンカレッジ in 鳥取」実行委員

平成26年 ロシア沿岸地方における「第5回鳥取県文化デイズ」に参加、ウラジオストクでいけばな指導を行う

平成30年 鳥取市立中ノ郷中学校華道部指導員となる

### 【作品に対する思い】

受け継がれてきた伝統的な花のかたちと現代空間に対応した花のかたちとを融合し、より多くの人に親しまれる花をいけることを目指しています。

また、花の持つ命をいかし、いきいきとした草木の姿を表現することを心掛けています。

花と向き合い、語らいながらいけることで、その作品に心が見えてきます。形や技術にとどまらず、そうした花への想いも次世代へ引き継ぐことができるよう努力してまいります。

### 【活動に対する思い】

長い歴史の中で、いけばなは伝統文化として確固たる地位を確立し、形が決まっています。しかし、時代は変化していき、現代では伝統的ないけ方にとられない自由なスタイルも出てきています。これは、人々の生活様式や生き方の変化など、住空間の西洋化、個人を尊重する思想などが影響しています。

近年は、世界の多くの人たちがいけばなを親しむようになり、SNSなどで拝見することができますが、その国らしい花材や色彩を取り入れながら、いけばなを楽しんでおられます。

オンラインでの稽古も可能になり、変わりゆく時代についていくことは容易ではありませんが、いける人の花に対する心は変わることはありません。日本の伝統文化であるいけばな芸術を次世代につなぎ、いけばなの素晴らしさが、日本はもとより、世界に広がっていくことを願って活動しています。

### 【写真】



日本いけばな芸術展 出品作

## 第48回 鳥取市文化賞受賞者

さいとう よりあき  
**齊藤 頼陽**〔演劇〕

### 【受賞理由】

平成18年、鹿野町で活動を開始した鳥の劇場の創設メンバーとして参加し、鳥取に移住した。以来、俳優として、また副芸術監督として同劇場の活動に深く携わり、全国的にも高い評価を得る原動力となった。

その活動は、演劇の創作による地域の芸術振興のみならず、今では定着している「鳥の演劇祭」などによる地域振興、学校での表現ワークショップを通じた教育活動及び人材育成、障がいのある人とない人が共に舞台に立つ「じゅう劇場」を通じた共生社会実現など幅広い。

そのほか、高校演劇の東部地区の審査員、ラジオ番組のパーソナリティ、演劇や演技を使った様々なプログラムの創出などに取り組むことで、表現やコミュニケーション能力向上や芸術文化の発展に寄与している。

### 【経歴】

平成20年1月～ 特定非営利活動法人鳥の劇場理事  
平成25年度 鳥取県教育センタースーパーバイザー  
平成28年度～ 鳥取県障がい者芸術・文化活動推進委員  
令和元年度  
平成29年4月～ 鳥の劇場副芸術監督

### 【主な活動】

平成5年4月 大学入学と同時に学内サークルにて、演劇活動開始  
平成7年～ 劇団「ジンジャントロプスボーイセイ」に参加。以降、劇団解散まで在籍し、多くの作品に出演  
平成16年 イッセー尾形の演出を手掛けていた演出家・森田雄三氏に演技指導を受ける。11月、THEATRE1010にて行われた「イッセー尾形・夏目漱石を読む！書く！創る！」に出演。  
平成18年～ 「鳥の劇場」に立ち上げ時より参加。以降、俳優として多くの作品に出演  
平成19年～ 鳥取市立鹿野小学校をはじめ、鳥取県内の幼稚園、小中学校や養護学校にて主に学習発表会に向けた演技指導を行う  
平成23年～ 鳥取市立鹿野中学校2年生対象選択授業「演劇」コースにて、生徒と短い演劇作品を創作し、幼稚園児童や低学年の生徒向けに発表を行う  
平成30年～ シニア世代の方たちによるリーディング上演企画「おとなな劇場」の演出、監修を行い、年1回ペースで作品を発表  
平成30年3月 高校生と一緒に演劇作品を創る企画「つくる高校生」にて、『わが町』（作：ソーントン・ワイルダー）を演出し、上演

## 「鳥の劇場での主な出演歴」

『老貴婦人の訪問』（作：F. デュレンマット） 学校長・警察署長・牧師役  
『剣を鍛える話』（作：魯迅） 黒い男役  
『葵上』（作：三島由紀夫） 六条康子役  
『白雪姫』（原作：グリム） 七人の小人役  
『天使バビロンに来たる』（作：F. デュレンマット） ネブカドネザル役  
『三文オペラ』（作：B. ブレヒト） メッキース役  
ブレヒト版『アンティゴネ』（作：B. ブレヒト） クレオン役  
『三人姉妹』（作：A. チューホフ） ヴェルシーニン役  
鳥の劇場・韓国芸術総合学校 共同事業『小さなエイヨルフ』（作：H. イプセン） アルフレッド・アルメルス役  
『すてきな三にんぐみ』（原作：トミー・アンゲラー） 大どろぼう役  
『どろぼうがっこう』（原作：かこさとし） くまさかとらえもん役  
『《不思議の国のアリスの》帽子屋さんのお茶の会』（作：別役実） チシャ猫役

## 【作品に対する思い】

観た後にただ「面白かった」だけではなく、作品で描かれていることを‘自分ごと’として感じ、日常を見つめ直すきっかけとなるような作品を創りたいと考えています。

演技をする上で意識しているのは、観ている人の頭の中でいかに想像をふくらませられるかということです。そのためにはある程度の強度を持って演じることが必要ですが、自分が出過ぎないようにする。ある日舞の大家が、「自分の踊りを観た後に、観た人が何を観たか忘れてしまい、風が吹いていったと感じさせるような踊りがしたい」とおっしゃっているのを聞いた記憶があります。私の演技も、決して私個人が目立つのではなく、観ている人の想像を支える何かでありたいと思います。

演出として創作に関わる場合、（一般の方が対象のことが多いからかもしれませんが）演じている人の‘ひととなり’を引き出すことを意識しています。そして、作品を観た人が好意を持ってそのことを受け入れる。そういう関係が生まれるような時間を創りたいと考えています。

## 【活動に対する思い】

自分たちの活動を通じ、演劇の持つ力が社会でより広く認識され、その果たす役割が大きくなっていけば良いと考えています。それと同時に、「劇場」という場所の持つ可能性も追求していきたい。劇場には、「舞台芸術を実演する場」としての役割に加えて、「様々な人が集い共感する場」としての役割もあります。後者の役割は、まさに今、社会に求められているものだと思います。自分たちの作品創り、発表を活動の中心としながら、時には舞台芸術という枠を越え、「共感する場」としての役割を果たす活動を実践していきたい、そして「鳥の劇場」を多くの人に親しまれる場にしていきたいと考えています。

## 【写真】



撮影：池本喜巳



『三人姉妹』 ヴェルシーニン役

## 第48回 鳥取市文化賞受賞者

ながみ のぶひさ  
**永見 信久〔音楽〕**

### 【受賞理由】

愛知県立芸術大学大学院を卒業後、鳥取大学教育学部、島根大学教育学部教授を歴任し、多くの学生に対し、ヴァイオリン奏法や合奏などを指導してきた。

大学で教鞭を執る傍ら、長年にわたり鳥取ジュニアオーケストラの指導に当たっており、毎年定期演奏会を開いてきた。ジュニアオーケストラではこれまでに弦楽器奏者（ヴァイオリン、ビオラ）を多く輩出しており、鳥取市の若手奏者の育成や、音楽文化の向上に貢献している。

鳥取県のヴァイオリン演奏、弦楽アンサンブル指導の第一人者であり、本人の活動、活躍もさることながら、長年にわたって青少年の育成に貢献され、実際に多くの弦楽器奏者を鳥取の地から輩出していることから、鳥取市における音楽分野での功績は大きい。

### 【経歴】

昭和49年3月	愛知県立芸術大学 大学院卒
昭和50年4月	鳥取大学教育学部赴任
昭和51年	教鞭をとるかたわら、リサイタル、室内楽の演奏活動に入る 鳥取市交響楽団の発足に携わる
平成7年	鳥取ジュニアオーケストラの結成に携わり、後進の指導にあたる
平成16年	島根大学教育学部赴任
平成27年	島根大学退官
現在	島根大学名誉教授 鳥取県オーケストラ連盟会長 鳥取県文化団体連合会理事

### 【主な活動】

昭和47年	大学の同窓生と弦楽四重奏を結成
昭和59年～ 平成3年	ピアニスト村上弦一郎氏（元桐朋学園大学学長）と共にリサイタルを開く
平成7年～ 平成21年	鳥取市交響楽団と共にベートーヴェン、メンデルスゾーン、 シベリウスの協奏曲を演奏
平成13年～	河田雅子氏と共にコンサートを開催 現在に至る グリーク「ソナタ」、ベートーヴェン「クロイツェル」等々
平成27年3月	退官記念演奏 プロコフィエフ協奏曲第1番

### 【作品に対する思い】

芸術作品の多くは、鑑賞者が作品を直接鑑賞することが可能であるが、音楽作品の場合は大多数の人は作品を直接鑑賞することができません。つまり、大抵の場合、演奏者を通して鑑賞することになります。

したがって、演奏者はその代弁者として作曲家の意図を汲み取ることが求められます。

つまり、演奏するときには、作曲者が生きた時代と共に、作曲者の特質が現れている意図を読み解き、どのように演奏するのかを考えています。

### 【活動に対する思い】

鳥取大学赴任時には、鳥取県、鳥取市にオーケストラが無い状態であり、故榊兵治名誉教授らと共にオーケストラを立ち上げ、続いて演奏されることが無かった「県民による第九」を合唱団の人たちと結成しました。

また、国民文化祭とっとり2002に向けて、鳥取ジュニアオーケストラを立ち上げ、育成に努めてきました

鳥取県の音楽レベルを上げたいという思いから、音楽的そして魅力的な音を生み出すことに力を入れてきました。

そのため、心を込めた演奏に求められる基本的な要素である音程、音色、楽曲のリズム等の必要性を問いながら活動を続けています。

また、聴き慣れた曲、演奏されている機会が少ない曲等を取り上げ、ヴァイオリンの曲をより多くの人々に耳にさせていただけるよう努めています。

### 【写真】



鳥根大学管弦楽団で指揮を務める（松江市プラバホール）